

中学部教育計画

中学部では、基本的な生活習慣の確立を目指し、将来の自立や社会参加に必要な知識・技能・態度について、教育活動全般を通して培っていく。そのために、生徒の実態を的確に把握し個別の教育支援計画及び個別の指導計画を作成するとともに、その指導計画を基に生徒一人一人の課題や教育目標の具現化に向けて支援していく。

1. 学部教育目標（目指す生徒像）

（１）いろいろな運動に進んで取り組み、力いっぱい活動する生徒（健康）
ア 意欲的に運動に取り組み、体力の保持、増進に努める。 イ 手洗い・うがいなど、健康に過ごすための方法を覚え、実践することができる。 ウ 約束を守って、安全に生活しようとする。
（２）自分のことは自分でやろうとし、より良い生活を目指すことができる生徒（自立）
ア 自分から挨拶をしたり、身だしなみに気を付けたりすることができる。 イ 友達と協力し合ったり、助け合ったりする。 ウ 学校生活のルールを守り、集団生活を送ることができる。
（３）勉強することに興味・関心を持ち、進んで学習に取り組む生徒（学習）
ア 相手の顔を見て話を聞いたり、自分なりの方法で発表したりすることができる。 イ 学校で行う様々な活動に、期待をもって前向きに取り組む。 ウ 自分でできることに喜びを感じ、最後まで諦めずに取り組む。 エ 生活に必要な数量や言葉などの基礎を身に付け、生活に生かすことができる。
（４）基本的な技術を身につけ、喜んで働く生徒（勤勉）
ア 手順やルールを守り、正しいやり方で作業を行うことができる。 イ 責任感を持って根気強く仕事を行うことができる。 ウ 作ることに楽しみを見いだし、働く喜びを感じることができる。

2. 今年度の重点努力事項

- （１）個別の支援計画及び個別の指導計画を基にし、個に応じた指導・支援に努める。
 - ・ T T間による、きめ細やかな打合せを確保・推奨することで、より良い指導を目指す。
 - ・ 保護者と、合理的配慮について話し合いを進める。
- （２）能力差のある集団の中における効果的な学習指導のあり方を探る。
 - ・ 指導体制の見直しや、指導（略）案を基礎にした事前の打合せを実施する。
 - ・ O TやS T， S C等，外部専門家の助言を取り入れ、指導・支援に生かす。
- （３）生徒にとって理解しやすい指導・支援の実施に努める。
 - ・ 絵カードや写真の提示による視覚を中心とした五感に訴える方法を活用し、効果的な指導を行う。
 - ・ 生徒が主体的に学習に取り組めるよう、場の構造化を図る。
- （４）小・中・高の指導の系統性を意識し、学部間の連携を図る。
- （５）生徒の成功体験を増やすことで、自信を持って学校生活を送ることができるよう指導・支援に努める。